

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14		・子どもたちが伸び伸びと過ごせるように、十分な広さのスペースを確保しています。 ・適切ではあるが、個別の空間を作れるようにしています。	・引き続き、利用定員と部屋との適切なスペースを確保していきます。
	②	職員の配置数は適切である	14		・子どもの人数に対して適切であり、個々の様子に合わせて他の職員が柔軟に対応しています。	・運営規定上の職員の配置数を満たしておりますが、子どもたちが安全・安心に楽しく過ごせるように適切に職員を配置していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14		・子どもたちの発達の特徴に合わせて、絵カード、写真カード、スケジュールカード等を使い視覚的にわかりやすくしたり、場面に応じた環境設定をしています。 ・各自のマークを年少から年長まで同じマークにしわかりやすいようにしています。ロッカーや靴箱などにマークをつけています。 ・室内には連絡用の電話が各部屋に設置されていて、すぐに連絡が取れるようになっています。	・今後も本人の立場で考え、場所に応じたわかりやすい環境を提供し、安全に生活が送れるよう努めます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14		・感染症予防で次亜塩素酸ナトリウムによる消毒を実施しています。 ・毎月、安全チェックを行い、衛生面、安全面に配慮しています。	・今後も引き続き毎日の遊具の安全点検、室内外の点検、感染予防対策を行い、安全な療育環境に努めます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	14		・療育活動、行事等の計画、振り返り（反省）を全員参画で実施し共有しています。	・PDCAサイクルを繰り返すことで療育改善の意識をもって、支援が行われるようにします。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14		・年1回の評価を実施し、業務改善に努めています。 ・保護者からの意見を職員間で共有し、業務改善に努めています。	・今後も保護者の方に評価していただく機会を設けて、業務改善に向けて検討を重ねていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14		・事業所向け自己評価と保護者向け自己評価の結果を踏まえ、自己評価を実施し、ホームページに公表しました。	・評価結果を職員で共通理解し、ホームページに掲載すると共に保護者への周知を図ります。 ・職員会議等で業務改善に努め、全職員が改善の意識をもって療育支援が行われるようにします。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		14	・第三者による外部監査は行っておりません。	・県や市による行政監査で受けた指摘や指導を改善につなげていきます。
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している	14		・今年はコロナで中止になってしまったが、研修の機会は確保されています。	・コロナ禍の中、オンラインによる外部研修に参加しました。また、職員の資質向上を目指すため、内部研修も行いました。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14		・アセスメントからニーズや課題をくみ取り、専門職からのアドバイスや会議・話し合いをした上で支援計画を立てています。	・引き続き、アセスメントと子ども・保護者のニーズを踏まえた個別支援計画を作成していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14		・アセスメントによる子どもたちの姿の把握だけでなく、発達検査結果も考慮し個別支援計画を作成しています。保護者のニーズや課題を事前に確認するだけでなく、保護者懇談を通して、保護者とともに個別支援計画を作成しています。	・今後も既存のツールを使い、子どもの適応状況を把握できるようにしていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14		・個々の発達や姿に合わせ、生活面や遊びについての目標を長期、短期と立てています。	・今後もアセスメントをしっかりと行い、提供すべき支援を適切に設定していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14		・目標の達成状況や子どもの姿を確認し、年に2回個別懇談を行い、保護者とともに計画に沿った支援を行っています。	・引き続き、個別支援計画に沿った支援を行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	14		・活動プログラムはクラス担任間で話し合って立案したり、専門職と相談し立案しています。	・引き続き、活動プログラムを職員で話し合いながら決定していきます。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14		・感触遊び、運動遊び、集団遊び、音楽、製作、季節の遊びなど、色々な活動プログラムの中から子どもの姿に応じてねらいを持ち、計画しています。	・安全配慮を重点に子どもたちのための活動を検討していきます。引き続き、活動プログラムを固定化しないよう職員で話し合いながら計画していきます。	

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	14		・個別活動として、着脱、排泄、食事等、身辺自立に向けた支援計画を作成しています。 ・集団活動として遊びの中で順番ややりとり等、人のかかわりスキルが身につくよう計画しています。	・引き続き、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14		・毎日朝礼で打ち合わせをして、活動内容を打ち合わせたり、役割分担の確認をしている。時差勤務の職員にも伝達しています。	・子どもの状況に応じて計画を作成し、クラスの職員間で共有しています。また、毎日朝礼で支援内容や役割分担を確認し実施しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	14		・支援終了後には、その日であったことや、気づきを振り返り、意見を出し合ったり共通理解するようにしています。	・支援終了後、クラス内で振り返り反省をしています。またそれを翌日、翌週以降の活動や支援内容に反映させています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14		・日々の子どもの姿を記入しています。	・引き続き、支援の検証・改善につなげるように努めます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14		・年2回個別支援計画の見直しを行い、保護者と確認しながら、次の支援目標を定めています。	・半年ごとのモニタリングの他、見直しが必要な場合はその都度モニタリングを行い、支援計画を修正しています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	14		・ケースに応じて必要な職員が参加しています。	・ケースに応じて必要な職員が参加しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14		・保健センター・保育係・小学校・特別支援学校など関係機関の担当者と顔の見える関係が構築されており、連携を取り合う体制ができています。	・引き続き、関係諸機関と連携した支援を続けていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	14		・医師の指示のもと、看護師や保健師が経管栄養法を取り入れています。	・医師の指示のもと、看護師や保健師が実施していきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	14		・保護者を通じて情報共有、連絡等を行っています。	・医師の指示のもと、看護師や保健師が実施していきます。

関係機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14		・保護者の意向を踏まえた上で双方が施設を見学し、情報共有をしています。	・今後も子どもの姿に合わせて移行支援ができるよう情報を共有して相互理解に努め、体制を整えていきます。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14		・地域の小学校や特別支援学校の先生が来園して子どもの様子を見たり、担任と情報共有したりしています。年中児の保護者を対象に特別支援学校見学会が行われています。	・引き続き、連携を取り合い子どもの姿を伝え、情報共有・相互理解を図っていきます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14		・県や西三河で行う研修に参加しています。	・専門機関と連携をし、研修や助言を受け、職員の資質向上に努めていきます。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	14		・今年度保育園にて過ごす機会がありました。来年度は園児と一緒に遊ぶ機会をもてると良いと思います。	・きいろ組年長児は交流保育を行いました。みどり組の逢妻との交流保育は天候等の関係で中止でした。引き続き交流できる機会を設けていきます。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	14		・代表者が参加しています。	・今年度子ども部会が立ち上がりました。引き続き積極的に参加していきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14		・主に連絡帳になっていますが、その日にあった事柄をわかりやすく伝えたり、家の様子を伝えてもらったりしています。	・引き続きご家族の方々と共通理解を深められるように努めていきます。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	12	・希望されるご家庭を対象に月に1度実施しています。	・2回の「親子で遊ぼう会」等を実施し、保護者に子どもたちの姿を見て安心してもらえるようにしました。 ・今後も保護者の方と子どもたちの支援について考えていきます。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14		・入園時に必ず説明を行った上で同意を得ています。	・説明会だけでは保護者の方々が理解しきれない部分があれば、保護者からの問い合わせ等に応じ、その都度丁寧な説明ができるように、引き続き心がけていきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14		・入園前に入園説明会及び重要事項説明の機会を設け、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を心がけています。	・面接時に支援計画を提示しながら説明を行い、サインを頂いています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14		・個別懇談会を年に2回設け、保護者の相談に応じています。 ・保護者からの悩み、相談があればその都度対応しています。	・送迎時や連絡帳、電話等でいつでも相談に応じています。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14		・保護者会、OB会、茶話会等の参加を支援しています。	・引き続き、保護者への協力・サポートを継続していきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14		・相談には即対応しています。担任、児童発達支援管理責任者、園長が話を聞き、必要に応じて外部機関と連携しています。	・引き続き相談や申し入れに対し、迅速かつ適切に対応していきます。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14		・定例の園だよりに加え行事の案内を配布しています。また、活動内容を写真で知らせたり、感染症情報等を掲示しています。	・月に1度、おたよりを作成し、配布しています。来年度は早めの配布に努めます。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	14		・個人情報提供同意書で保護者に確認をとり、個人情報は鍵のかかる書庫に保管しています。 ・行事の際には、保護者が撮影した画像、映像の扱いに留意してもらえよう話をしています。 ・個人情報やセキュリティの取り扱いに関する研修やチェックが定期的にあります。	・引き続き個人情報の取扱いに十分注意していきます。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14		・写真や絵カードを使うなど、お子さんの発達や障がい特性に合わせた支援を行っています。	・子どもの意思や気持ちがあくみ取れるように、視覚支援などの方法を引き続き行っていきます。
	④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14		・職場体験等の依頼もありましたが、コロナ禍のため、地域の方との交流は見合わせました。	・地域に開かれた事業運営を安全に行えるよう連携を取り合っています。
	④⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14		・自然災害や火事、不審者対応、嘔吐物処理、AED操作方法の確認を行いました。	・保護者向けの周知を行っていないため、保護者への周知方法について検討していきます。
④⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14		・非常時に落ち着いて避難できるような、毎月様々な災害を想定して訓練ができるよう努めます。	・引き続き、毎月の訓練を実施できるよう努めます。	

非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時に健康の記録を記入してもらい、保育士、看護師、保健師が保護者から状況の聞き取りをしています。</li> <li>・投薬は薬連絡表を提出してもらい、対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、子どもの状況把握及び適切な対応ができるように努めていきます。</li> </ul>
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アレルギー疾患・生活管理指導票」を医師に書いていただき対応しています。</li> <li>・複数人でチェックしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、適切な対応ができるように取り組んでいきます。</li> </ul>
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の施設でのヒヤリハットの共有や、その都度気づいた点を職員間で報告しあい、事業所内での共有をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットやケガには十分に気を付け、事故が起こらないように事業所内で共有し留意していきます。</li> </ul>
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チェックリスト」を個々に行い意識の啓発に努めました。今後手引きの読み合わせや「KJ法」等を取り入れていく予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も職員の虐待に対する意識の啓発に努めていきます。</li> </ul>
	④⑦	どのような場合にやむを得ず、身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方には面談の中で療育内容について十分な説明をさせて頂きながら行っております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修の中で、より良い療育が行えるよう引き続き質の向上に努めてまいります。</li> </ul>